

12月 会員夫人誕生日 おめでとうございます

12月 9日 池上裕也会員夫人 玲子様
12月19日 荒山義雄会員夫人 敬子様
12月21日 北橋茂登志会員夫人 道子様
12月14日 立花英司会員夫人 玲子様
12月20日 中井政嗣会員夫人 栄子様
12月31日 林 博之会員夫人 啓子様



今月お誕生日を迎えられる会員各位



和太鼓部の皆さまへ感謝状

年次総会議事録

- 1.次々期会長及び次期理事候補者について原案通り承認された。
次々期会長候補者：網干康史会員
次期理事候補者：段 正峰会員、秋田祐作会員、松井 潤会員、前田文恵会員、大塚哲平会員

12月度定例理事会議事録

- 1.50周年記念式典について林50周年実行委員長から招待者についての報告があり承認された。第2660地区関係、三姉妹クラブ、友好クラブ、名誉会員、その他(子ども食堂、飛鳥学院など今までお世話になった方々)、和太鼓部、大阪難波RAC、家族は会員夫人のみの参加可能とする。また式典のゲストや演出などの報告があり、なんば駅前広場へ設置の時計とモニュメントに関しては現状各所調整中。
2.クリスマス家族会について、参加人数は150~151人を予定しており当日は会長、幹事、友好委員会は14時半集合予定で準備を進める。ピアノとソプラノ歌手のステージは歓談中に行うこととなった。
3.徐 正萊会員が2025年12月1日付けで退会することが承認された。
4.菰田吉見会員の出席免除が報告された。
5.米山奨学生の受け入れ意向調査があり要望を入れ受け入れることが承認された。
6.事務局の複合機がリース期間満了となり、部品供給ができなくなるにより現状の整理と今後の方針を検討し、現時点の買い替えはせず再リースすることで承認された。
7.大阪難波RACの5周年記念式典について河内委員長より日程、当日のスケジュールの報告に加え、大阪難波RAC会員の会費は学生会員¥3,000、その他¥6,000を大阪難波RACから徴収することが承認された。余剰金は繰越しに回すことで承認された。また今後の大阪難波RACの運営において、ニコニコやその他イベントで発生した余剰金は、年度内に使い切らず、次年度の繰越金として計上することが承認された。

これからの予定

12月18日(木)例会
12月18日(木)大阪難波RACクリスマス忘年会例会
12月20日(土)大阪南RC年末懇親会
12月25日(木) 休会
1月 1日(木・祝) 休会
1月 8日(木)新年互例会・定例理事会
1月15日(木)例会

WEEKLY BULLETIN

OSAKA
NAMBA

大阪難波ロータリークラブ週報

よいことの
ために
手を取りあおう

Rotary

2025-2026年度 国際ロータリー会長
フランチェスコ・アレツォ
会長メッセージ「よいことのために手を取りあおう」
(第2660地区ガバナー 吉川 健之)

今日の卓話	次回の卓話	ロータリー4つのテスト
12月11日(木) クリスマス家族会 受付開始17時 例会 17時30分 開宴 18時	12月18日(木) テーマ「半期を振り返って」 卓話者 立花英司会長 清水一人幹事	言行はこれに照らしてから 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになる

第21回例会 本日のプログラム

開 会	(点鐘)	通算第2297回例会
・国 歌	「君が代」	
・ロータリーソング	「奉仕の理想」	
・歌	岡本優香さん	
・ピアノ	高山理帆さん	
・来賓紹介	立花英司会長	
・会長報告	立花英司会長	
・幹事報告	清水一人幹事	
・委員会報告	各委員長	
・出席報告	出席委員	
・ニコニコ箱報告	SAA	



クリスマス家族会プログラム

司 会	赤坂 宏
・和太鼓部による演奏	和太鼓部
・挨拶	立花英司会長
・来賓祝辞	大阪南RC
・乾 杯	飯井克典会長エレクト
・ディナー	谷口 勉元ガバナー補佐
・大阪難波RAC近況報告	岡本様・高山様による演奏
・スペシャルゲストステージ	大阪難波RAC会員
・お子様へのプレゼント	SHOGO様
・プレゼント抽選会	
・閉会挨拶	赤坂宏友好委員長
・「手に手つないで」	
・記念撮影	
・閉会	

出 席 報 告			
前回 12月4日		3週前 11月13日	
会 員 総 数	82名	出席免除を除く MUを含む 修正出席率83.33%	
出 席 会 員 数	59名		
出 席 率	76%		

ニ コ ニ コ 箱 報 告	
前 回 の 合 計	¥70,000
本日までの累計	¥2,491,000 (95%達成)
12月末の予算額	¥2,600,000

大阪難波ロータリークラブ
創立 1976年8月5日
例会日時 毎週木曜日 12:30
例会場 スイスホテル南海大阪7階 芙蓉の間
会長：立花英司 幹事：清水一人 会報・雑誌委員長：大塚哲平 事務局：安部亜希子
事務局 〒542-0076 大阪市中央区難波5-1-60 スイスホテル南海大阪5階
TEL 06-6632-3956 FAX 06-6632-3957 e-mail osaka-namba@poem.ocn.ne.jp

12月は「疾病予防と治療月間」です

前回の記録 第20回 12月4日（木）

★来客紹介：上江友好委員

ゲストスピーカー
城谷淳史様



★会長報告：立花会長

1. 先週の木曜日に会長経験者会を西野屋さんで開催させて頂きました。元会長10名と森田会長エレクトに参加して頂き、私を含めて12名で行いました。山田元会長の乾杯で始まり、今後難波ロータリークラブが発展して行くには、どのような改善が必要か？などの意見交換がありました。会員増強、会員選考、マナーやモラルの重要性などの話し合いがあり、中でも例会中や行事での私語についての注意喚起はどうすればいいか？が話にあがりました。沢山のご意見があった中、例会中の私語については、マイクで報告などを行う前にSAAが注意事項で毎回アナウンスを行えばいいのでは？と言ったご意見や、テーブルでは入会が10年以上のベテラン会員がテーブルマスターになりテーブルでの注意を行えばいいのでは？と言ったご意見がありました。他にも沢山の話がありましたが、まずは本日よりSAAから注意喚起をアナウンスさせて頂きますので、ご協力宜しくお願い致します。元会長の皆様、今後の運営に役立つ沢山のご意見有難うございました。また有意義なお時間有難う座いました。重ねてお礼申し上げます。
2. 11月30日に大阪拘置所にて開催された「大阪拘置所フェスタ」に当クラブの和太鼓部が出演して頂きました。8名の和太鼓部の皆様に参加して頂き、ステージではトリを務めて頂き 4曲の和太鼓の演奏を披露して頂きました。毎年、西川きよし様や月亭八方師匠と出演させて頂いています、大阪拘置所への慰問活動とは異なり今回は地域社会との交流を目的として実施され、会場には多くの来場者が訪れ和太鼓部も奉仕活動の一環として参加されました。和太鼓部の力強い演奏に多くの拍手を頂いたとお聞きしております。和太鼓部の皆様には、地域に根差した活動を引き続き展開して頂きたいと思います。和太鼓部の皆様、出演に関してご尽力頂いた谷口先生、当日ご参加して頂いた皆様、本当に有難う座いました。心より感謝申し上げます。

★幹事報告：清水幹事

1. 本例会会終了後、年次総会を開催させていただきますので少しお残りください。またその後、定例理事会を開催させていただきますので理事役員の方はご出席ください。
2. 先日の地区大会、オンライン出席で提出された方へアテンダンスカードを入れさせていただきました。オンライン出席された方はお手数ですが、お名前をご記入いただき、事務局へご提出ください。

★委員会報告

◇友好委員会：赤坂委員長

クリスマス家族会とプレゼントについて

◇クラブ会報・雑誌委員会：田中委員

「ロータリーの友12月号の紹介」
横3 「RI会長メッセージ」
横5～11「特集 ロータリー談議」
縦17 「卓話の泉」
縦12 「Rotary俳壇・歌壇・柳壇」

◇地区クラブ奉仕・拡大増強委員会：福田副委員長

「会員増強に係るガバナー表彰制度」について

★ニコニコ箱報告：藤井副SAA

立花英司：地区大会参加された皆様、お疲れ様でした。

清水一人：地区大会お疲れ様でした。

北田好文：家内誕生日、自祝。

千田忠司：本日卓話担当です。よろしくお願いいたします。

中川静夫：誕生日、自祝。

鉄崎 薫：今年もあとわずかとなりました。インフルエンザに気をつけてお過ごし下さい。

早栗義文：心うれしいこと！！

荒山義雄：創立記念日、自祝。

段 正峰：地区大会、お疲れ様でした。

上江ひとみ：お世話になっております。12月多忙月、皆様くれぐれもご自愛くださいませ。今年ラスト月も宜しくお願い致します。

前田文恵：誕生日、自祝。

服部好恵：例会欠席お詫び。

★大阪難波RACへのニコニコ箱報告

累計¥154,000

★卓話 テーマ「自己紹介」

「スマホを使った AIの活用」

卓話者 城谷淳史 様

卓話担当者 千田忠司会員

今日は自己紹介をかねて、ミナミ・道具屋筋で私が取り組んできた商売とまちづくり、そしてこれから欠かせないAIの話をさせていただきます。ロータリーに入って30年、商売は50年、創業80年の会社を営んでいます。訪日外国人の拠点としてミナミを西日本のハブにするという思いでまちづくりを続けてきましたが、世界で何か起こればすぐ商売に跳ね返ります。若い経営者の方には「景気も危機も5年サイクルで必ず自社に影響する」という感覚だけは持っておいてほしいと思います。

私が社長になった1994年は関空開港の年。就任と同時にバブル崩壊、翌年には阪神大震災で取引先が倒れ、手形はジャンプ続き。アーケードも損壊し、建て直ちに4億5,000万。補助金後の保証に私が判を押したことで理事長をやめられず、なんとか商店街を守ってきました。コロナでは売掛8割の商売構造で売上が半分に。しかし「これはチャンスや」と考え、価格競争に巻き込まれる仕事を切り、自社ECを立ち上げ、オリジナル商品や体験型コンテンツを作りました。錫の専門店と組んで名入れ商品を作ったり、地下の厨房スペースを体験の場に変えたり。2005年からSNS発信を続けてきたこともあり、関西を訪れる4,000万人のうち約1,800万人がこのエリアに来てくれるようになりました。ただ政治情勢で中国のお客さんが急減するなど、本当に潮目の変化は読めません。まちづくりの基本は「安心・安全・クリーン」です。留学生とのマッチングでは「日本は夜歩いても安全だから来た」と多くの学生が言い、優秀なアジアの若者が働きに来ています。うちでもネパール、バングラデシュの方を採用していますが、本当にまじめで優秀。物販・販売を希望する外国人材をご紹介しますこともできます。

一方で日本人の働き方はどうか。従業員の出勤は月18～20日、多くて21日。その一方で中小の経営者は賃上げを求められながら360日働いているような状況です。効率が悪いまま人件費だけ上がれば苦しい。だからこそ商店街の従業員向けに英会話教室やAI研修を行い、「家でお父さ

んすごいね」と言われるようなスキルアップを、賃上げと同じくらい大切な“報い”だと思って進めています。AIは今後さらに加速しますが、私は「AIには問がない」とよく言います。学歴はあっても経験や知恵が伴わない人がいるように、AIも正確でも、お客様の表情を見ながら臨機応変に動く接客はできません。サービス、まちづくり、人を育てる仕事には人間が必要です。行政も同じで、なんば駅前広場は何度も働きかけ、トップを動かしてようやく実現しました。2030～31年には、なにわ新線が開通し、関空から新大阪へ直通します。ミナミを西日本のハブにするため、次世代が商売しやすい環境を整えていきたいと思っています。ここからはバトンをお渡しし、AI活用についてJEBPARKの城谷さんにお話しいただきます。

皆様、はじめまして。城谷と申します。これからAIはインターネットと同じくらい日常的になります。今日の目標は、チャットGPTを使ったことのない方に一度質問してもらうことです。普段私は道具屋筋でHP制作やWeb活用を担当し、QRコードから使えるチャットGPTのWeb版を案内しています。質問を入力するだけで答えが返ってくるという、まずはその体験をしていただきたいと思います。1年前に生成したイラストと今を比べると、日本語も表現力も驚くほど進化しています。SNS投稿文、ブログの下書き、メニュー案、接客マニュアル、売上分析、翻訳など、店の業務の多くはAIに手伝ってもらえます。GoogleのAI「Gemini」も同様に、「インフォグラフィックで」と指示すると図解まで作れるようになりました。ただしAIだけでは“らしさ”は生まれません。人間の感性とAIの処理力を組み合わせることで、仕事の幅は大きく広がります。今日の話が皆様の業務やまちづくりの一助になれば幸いです。

